

# ふみびと

第298号  
発行所  
文通村事務局  
編集 広報部  
千葉県成田市

## 「ふるにゆとり」

# 気持ち弾ませる 手書き文字

「最近の若者は…」

よく聞くこの言葉。実は古いところでは古代エジプトのパピルスにも記述があるそう。そういった「風習」は今に始まったことではないそうです。

とはいえ先日とあるお店のレジで並んでいた時、高校生くらいの「若者」がその「大人」の店員さんより礼儀正しい振る舞いで商品を受け取っている姿を見て、一概に「若者」「大人」と一括りにはできないな、と感じました。

先日、礼儀作法の流派、小笠原流礼法の宗家（家元のようなもの）で、す）である小笠原敬承齋さんという方の著書を読んだのですが、礼儀作法とは他者を慮（おも）んばか）る「積極的な行動」なのだそう。きつとこの高校生には「若者」であることと関係のない他者を慮る心遣いがあったのではないかと思います。

先日、礼儀作法の流派、小笠原流礼法の宗家（家元のようなもの）で、す）である小笠原敬承齋さんという方の著書を読んだのですが、礼儀作法とは他者を慮（おも）んばか）る「積極的な行動」なのだそう。きつとこの高校生には「若者」であることと関係のない他者を慮る心遣いがあったのではないかと思います。



ちなみにここでご紹介した小笠原流礼法は700年の伝統を誇る流派なのですが、敬称齋先生が宗家に就任したのもわずか30歳の「若さ」のことだったそうです。

ところで敬承齋先生にお会いしたことのある知人に話を聞いたところ、先生は礼法を極めている方でありながら、他者の無作法に関しては求められない限りは事細かに指

摘されることはないそうです。

作法を身につけると、つい人の無作法が目についてしまうものですが、作法とともに時には人のありのままを受け入れるゆとりのある「こころ」も必要なのようです。

「若者」であることに甘えず、「大人」であることに奢らず人を慮ることを忘れない、本当の意味での「大人」でいたいものですね。

出典「男の一日一作法」  
光文社刊



## お知らせ

### 6月の発送日

6月の発送は第2月曜日と、第4月曜日27日です。送りたいお手紙がある場合には、それぞれ3日前（10日または24日）までに事務局に到着することを、お近くの郵便局で確認の上、ポストに投函してください。

### アイデア募集中

文通村をご利用頂いている中で、気になることやご要望、して欲しい、「こんなのがあったら便利なのに…」など文通村をより楽しくするアイデアを募集しております。皆様、お気軽にご意見下さい。

## 変化の視点

ヘアブラシを新調した。そう思う買いかえるものではないからとちよつといいものを選んだ。本気でこだわっている人からすれば、拍子抜けする金額だろうが、それでも一度でわかるくらいにいい心地がちがう。気持ちいいくらいにスムーズに髪をとおっていくし、心なしかツヤも増した気がするんだ」と思うと、ほんの少し朝

る。おかげで今までただの義務だったブラッシングが、日々のちよつとした楽しみに変わった。朝起きて、心弾ませてくれる。ほんの少しの奮発で、こんなにメリットがあるなんて。さて、今度は何を新調しよう。そんな視点で生活を見まわすと、また気持ちちはずんでくる。たまの贅沢の効能は予想外に大きかった。

の憂鬱が軽くなる。もちろん、さわかみに目覚めた日には、さらに心を弾ませてくれる。ほんの少しの奮発で、こんなにメリットがあるなんて。さて、今度は何を新調しよう。そんな視点で生活を見まわすと、また気持ちちはずんでくる。たまの贅沢の効能は予想外に大きかった。